

タンネウシ

2025年 1月号

タンネウシはアイヌ語で「長い・木の・群生しているところ」。博物館付近の地名です

知床博物館第43回特別展 知床国立公園60周年・ 世界遺産20周年記念事業 大標本展

知床博物館が収集してきた生物標本を大公開する特別展を開催中です。様々な動物の剥製はもちろん、鳥の巣や植物の種、標本作りに使う意外な道具まで、知床の自然を語る上で欠かせないたくさんのモノが皆さまをお待ちしています。▶会期: ~2月28日(金)▶場所: 交流記念館ロビー

特別講演会 道東博物館のとおき標本が語る、 地域の自然

特別展関連催事として、道東地区の学芸員が大集合し、イチオシの標本を語り尽くすトークセッションを開催します。どんな「とおき」が登場するか、お楽しみに。▶日時: 2月1日(土) 14:00~16:00▶場所: 本館映像展示室▶定員: 先着30名(要申込み)▶参加費: 無料▶講師: 野本和宏学芸員(釧路市立博物館)・貞國利夫学芸員(釧路市立博物館)・町田善康学芸員(美幌博物館)・外山雅大学芸員(根室市歴史と自然の資料館)・臼井平学芸員(知床博物館)



野本氏(左上)・貞國氏(右上)・町田氏(左下)・外山氏(右下)

ミュージアムカフェ 学芸員が見た友好都市弘前の 歴史と文化ってこんな感じでした カフェ

弘前市でりんごの収穫が最盛期を迎えた11月前半、知床博物館で歴史・民俗と考古を担当する2人の学芸員が、友好都市の魅力を知るため1週間の調査に出ました。ねぶたに通じる民間信仰や、自然と文化の2つの世界遺産、歴史と伝統を守り続ける気概など、現地で見つけた「弘前」を、皆さんとお茶を一緒にしながら報告します。▶日時: 1月11日(土) 14:00~15:30▶場所: 交流記念館応接室▶定員: 先着15名(要申込み)▶参加費参加費: 200円(協力会員無料)▶講師: 三枝大悟学芸員、勝田一気学芸員



りんご畑と岩木山

博物館講座 冬の星座と惑星観察会

冬の星座には7個の1等星と肉眼でも観測可能なすばるやオリオン大星雲が見られ、星座が一番華やかな季節です。また、赤い火星・縞模様木星・輪を持つ土星も冬の星空を飾っています。当日は前庭で星座の説明、大型天体望遠鏡などで惑星や星雲・星団を観察します。▶日時: 1月24日(金) 19:00~20:30※悪天候の場合は、25日(土)、26日

(日)に変更。▶場所: 博物館前庭▶定員: 20名(要申込み)▶参加料: 無料▶講師: 合地信生学芸員▶その他: 小学生以下は保護者同伴。暖かい服装でご参加ください。



すばる

収蔵資料展示 戦後80年企画 戦を記念する盃

令和7年(2025)年、日本は第二次世界大戦終戦から80年を迎えます。収蔵資料展示ではこれを機に、断続的にはありませんが、明治から昭和にかけての戦争に関する資料を展示します。第一弾では、戦争に関する文字や模様が入った盃を展示します。戦争そのものの記念の他、出征の饞別に対する返礼品などとして作られた、そのきらびやかな姿からは、戦争に対する現代とは異なった捉え方が見えてきます。▶会期: 1月4日(土)~2月2日(日)▶場所: 本館受付前



日露戦争を記念する盃

休館日

1月1日(水・祝)~3日(金)、6日(月)、13日(月・祝)、14日(火)、20日(月)、27日(月)